

未来に近い街、人に近い街 「新鎌ヶ谷地区」のイメージです

鎌ヶ谷市の新しい拠点づくり

新鎌ヶ谷駅を中心とするセンター地区には、複合的な交通拠点にふさわしい広域圏を対象にした、魅力的な商業施設や業務施設等を集積して、にぎわいとふれあいを生み出す空間が形成されます。

地域にふさわしい「新駅」と「交通広場」

鉄道3線（将来は4線を予定）が交差する総合乗り換え駅として、また、地域の中心的な玄関口としての機能をフルに発揮するため、駅北側と南側に交通広場を整備します。

潤いとやすらぎの空間

地区内に5か所の公園を計画しています。センター地区に隣接する近隣公園は、緑を基調とした、潤いとやすらぎのある都市生活のオアシスとして整備します。4か所の街区公園は子供たちがのびのびと遊び、地域の人々がさまざまに憩うことのできる身近な公園となります。その他に、2か所の小公園（ポケットパーク）を配置して、緑と憩いの空間をつくりだします。

美しい街並みの「住宅地」

新鎌ヶ谷駅及びセンター用地の周辺は、住宅地として計画されています。この住宅地は、交通拠点及び大規模ショッピングセンターの周辺住宅地として、商業店舗や共同住宅等を含む利便性に富んだ、緑豊かで美しい街並みの居住環境をめざします。

人にやさしい「シンボルプロムナード」

緑豊かなセンター地区を実現するために、駅前にシンボルプロムナード（都市計画道路3・3・13）を整備します。歩行者を優先し、景観的にもレベルの高い街路空間を形成します。

緑の回廊となる「都市計画道路」

都市計画道路はシンボルプロムナードとともに、緑豊かな都市景観を創出し、歩くことが楽しくなるような道路整備を計画しています。

自然環境の保全と活用を図った「調整池」

地区の北東端に計画されている調整池は、隣接する市制記念公園と一体的な空間を構成します。洪水調整機能で安全を守ると同時に四季の移ろいを写し出す緑豊かな空間となります。